

事業番号	15 06 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課		
		実施期間	H30 ～	E-mail	kyogaku @ pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・多様な特性等により学びづらさを抱える児童生徒が増えており、多様な学びや学びの場の保障が必要
- ・探究的な学びの一層の充実が求められる中、探究学習の様相は多様であるため、具体的な実践方法に戸惑いがみられる。
- ・変化の激しい時代において、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、主体性を発揮しながら、個別最適な学び、協働的な学びにより、教職生涯を通じて学び続けるといった、新たな教師の学びを実現していく必要性がある。

2 事業目的

- ・一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる。
- ・探究を中核とした学びを充実し、一人ひとりが自ら考え、他者と協働する学校づくりを支援する。
- ・教職生涯を通じて学び続ける新たな教師の学びを実現する。

3 事業目的を達成するための取組

- ① 学びの改革、個別最適な学びの推進
- ・国が開発する先進的な学習者用教材を先行的に導入・活用し、その実践と検証を通して、本県における情報教育のモデルとなる実践事例を創出する。
 - ・特定分野に特異な才能のある児童生徒とチューターを結び付け、オンライン等で支援を行う。また、本事業に参加する児童生徒について、クラウド等を活用して学校とチューターが情報共有する体制を構築
 - ・【拡】児童生徒が自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）」等について、実践校を拡大し、引き続き有識者派遣等により支援
 - ・【新】25人規模学級の導入に伴い、25人規模学級のメリットを最大限活かした学びのあり方や指導方、カリキュラムを研究する。
 - ・【新】来日したばかりで日本語が不自由な外国人児童生徒等に対する効果的な日本語指導の在り方について研究する。
 - ・【新】総合教育センターに授業等を配信するために拠点を設置し、遠隔授業のあり方を研究する。
- ② 教職員の資質向上
- ・授業改善や学校改革につなげるため、対話を中核に据えた校内研修の内容を充実させることに取り組む学校に対して、有識者派遣等により支援。
 - ・初任者から管理職まで必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた教職員研修を実施。
 - ・未来の学校を創る校長等のマネジメント力を向上するための研修を実施。
 - ・長野県の次代の教育を担う教員が資質・能力を高めるため、先進的な取組を行う学校への視察研修の支援を実施。
- ③ 子ども達の心身の健やかな成長
- ・校園種を越えて学び合い質の高い幼児教育の実現を推進するため、信州幼児教育支援センターによるフィールド研修を実施。
 - ・保育者に必要な資質能力を育成するため、キャリアステージに応じた研修を計画実施
 - ・園・小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修の実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移		
①	学びの改革を推進するために、TOCO-TON校の公開や研修会に参加した教員が「目的に照らし満足した」と回答した割合	%	-	-	-	93.6	-	94.0	引き続き、参加した教員が「目的に照らし満足できる」研修会等を実施することを目標として、現状の満足度を維持するよう設定
②	「信州まなびチャンネル（オンライン研修）」に参加した教員数	人	-	-	-	792	-	1,584	来年度から実施する「信州まなびチャンネル（オンライン研修）」の参加者数について、今年度実施している類似研修の参加者数を参考に目標値を設定。
③	幼児教育に係る研修の参加者が「研修の内容が満足した」と回答する割合	人	97.0	97.3	↗	97.0	↘	97.0	引き続き満足度の高い研修を実施することを目標として、現状の満足度を維持するよう設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	幼保小合同研修会の実施率	%	2022 (R4)	46.6	2023 (R5)	45.3	2024 (R6)	47.0	2027 (R9)	56.6
5-1①	一人ひとりが自分にとっての幸せを実現できる学びの推進	「学校へ行くのが楽しい」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2022 (R4)	82.0	2023 (R5)	82.4	2024 (R6)	84.5	2027 (R9)	83.7
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2022 (R4)	78.1	2023 (R5)	77.4	2024 (R6)	79.0	2027 (R9)	76.5
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	☆「授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていた」と答える児童生徒(小6、中3)の割合	%	2022 (R4)	81.1	2023 (R5)	84.2	2024 (R6)	81.9	2027 (R9)	81.1

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額) うち一般財源		
R8年度	予算案		142,547		142,547 109,790		8.0
	要求		223,601		223,601 155,766		
R7年度		0	174,162	0	174,162 104,202		8.0
R6年度		0	149,111	659	149,770 109,484	109,232	8.0
要求からの 主な変更点		<ul style="list-style-type: none"> ・ウェルビーイング実践校TOCO-TON事業について、事業の対象を見直したことによる経費の減額 ・教職員研修事業費について、過去の執行状況を考慮し、人件費等の経費を減額 ・遠隔教育配信事業について、実施方法の見直しによる経費の減額 ・部活動の地域展開・地域クラブ活動推進事業について、保健厚生課で計上することになったため当該経費を減額 					

事業番号	15 06 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	未来を切り拓く学力の育成事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	学びの改革支援課

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	先端的な学び支援事業		3,349 千円	20,957 千円	予算案 28,346 要求 30,332 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新たな教師の学び充実支援事業	直接	校内研修の内容を充実させることに取り組む学校に対して、有識者派遣等の支援を行い、効果的な校内研修のモデルケースを研究する。 先進的な取り組みを行っている学校への視察や最新の知識に触れられる専門的な研修に参加を希望する教員に対して、視察に係る旅費を支援する。 校内研修充実する学校25校程度、研修受講希望の教員20名程度を支援		
2	情報活用能力育成実践研究事業	直接	文部科学省が開発する学習者用教材を活用・検証し、本県の実態に即した情報活用能力育成の指導モデルを構築するとともに、県内全域へ展開可能な実践事例を創出する。 県内の公立学校8校程度で実践。		
3	特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援推進事業	直接	特定分野に特異な才能のある児童生徒とチューターを結び付け、オンライン等で支援を行う。また、本事業に参加する児童生徒について、クラウド等を活用して学校とチューターが情報共有する体制を構築し、その成果を活かす評価の在り方等について検討する。 県内小中学校から15校程度		
4	ウェルビーイング実践校TOCO-TON事業	直接	【拡】児童生徒が自ら学び方等を選択でき、自己実現できる学校「ウェルビーイング実践校TOCO-TON（トコトン）」等に対し、市町村を通じて補助を実施。 県内各市町村教育委員会から20団体程度		
5	信州２５２５（にこにこ）プラン事業	直接	【新】25人規模学級のメリットを最大限活かした学びのあり方や指導方、カリキュラムを研究する。 指導法やカリキュラムの研究		
6	外国人児童生徒等に対する日本語初期指導研究事業	直接	【新】キャラバン隊を組織し、外国人児童生徒等が在席している学校を周ることで、学校現場の困り感をつかみ、課題解決の方策を検討するとともに、協議体において、キャラバン隊が持ち帰った課題を踏まえながら、来日したばかりで日本語が不自由な外国人児童生徒等に対する効果的な日本語指導の在り方について研究する。 キャラバン隊年16回程度学校訪問、協議体3回程度		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	教職員研修事業費		73,099 千円	72,432 千円	予算案 69,597 要求 81,790 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	教職員研修事業費	直接	教職員の資質能力を向上させるため、初任者研修等の法定研修やキャリアに応じた各種研修を実施する。 システムを活用して各研修の受講履歴を記録する。 初任者、5年目、10年目、20年目以上の者への資質向上研修を実施		

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	総合教育センター研修費	16,291 千円	15,859 千円	予算案 15,795 要求 15,795 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合教育センター研修費	直接	『個人と社会のウェルビーイングの実現』に向けて、教員の資質能力向上を図る研修、専門的な知識・技能を習得する研修及び、教育課題を解決する力を育成する研修を行う。 希望研修、校長・教頭向け研修を実施	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	総合教育センター研究費	903 千円	865 千円	予算案 4,369 要求 8,254 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	総合教育センター研究費	直接	本県教育の今日的課題やセンターの事業に関する喫緊の課題に対応するため、研究協力者及び研究協力校とともに、時代を先取りした研究調査を推進する。 調査研究事業5件	
2	遠隔教育配信事業	直接	【新】総合教育センターに授業等を配信するために拠点を設置する。また、中山間地にある小規模の高校や定時制課程を有する高校を実証校に指定し、授業等を配信するとともに遠隔授業のあり方を研究する。 配信実証校7校	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	幼児教育振興事業費	7,371 千円	7,418 千円	予算案 7,569 要求 7,569 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	信州幼児教育支援センター運営事業	直接	幼稚園及び保育所等の園種を越えて幼児教育の質の向上を図るため、関係団体との連携、保育者研修の見直し等を実施する。 質の高い幼児教育を実施するため、キャリアステージに応じた研修やフィールド研修を実施、また、園・小接続カリキュラム（理論編・実践編）に基づいた研修を実施する。 運営会議2回、専門部会6回、キャリアステージ研修5回	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	文化部活動改革事業費	26,289 千円	52,477 千円	予算案 16,871 要求 79,861 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	部活動指導員任用事業費補助金	補助金	中学校文化部活動の専門的な指導による適正な運営と教員負担軽減のため、部活動指導員を任用する市町村を支援する。 31市町村82名	